

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2007～2008年度 RIのテーマ
ROTARY SHARES

会長 下津谷忠男 幹事 田中昌夫



第1901回例会 (2007年11月27日)

点鐘 下津谷会長

ロータリーソング 手に手つないで

お客様紹介

地区財団増進・ポリオ委員会

委員長 下 和雄様

会長挨拶 下津谷会長



本日は下様ようこそ！卓話よろしくお願ひします。最近は大高になり財団にお金が出しやすくなってきておりますので、皆様よろしくお願ひ致します。

さて久しぶりに私の愛読書の一冊を紹介致します。昭和37年の笠信太郎著の「花見酒の経済」という本です。ちょうどその頃は池田内閣の時代で日本経済は急成長をしておりました。彼は昭和24年に勤めておりました大蔵省を辞めて衆議院に立候補し見事当選しました。一年生議員なのに第三時吉田内閣の大蔵大臣、その後も大蔵大臣を歴任し、岸内閣のときは通産大臣をやって昭和35年7月に総裁選で当選しました。もちろん一年生議員ですから失言も多く「貧乏人は麦を食え」というフレーズは有名だと思ひ

ます。そして、昭和39年10月10日のオリンピック開会式の後、大不況に見舞われた翌40年に喉頭がんの為逝去しております。

これらの流れをみてきて私は何が言いたかったかといいますと現在の中国はまさにその通りだということです。来年はオリンピック、その後は万博と続きます。もし日本と同じだとしたら中国も大変な不況を経験することになるだろうということです。そして、最後に「花見酒の経済」の中から第八節を紹介して挨拶とします。

落語に「花見酒」というのがある。多くの読者は、先刻ご承知のことであろうが、花見に通る人出を見かけて、熊さんと辰つあん、オレたちも花見をやろうじゃないかということになった。が、先立つものは金。その金がない。熊は一策を案じて、一つ花見をしながら金もうけをやろうじゃないかと持ちかける。通りの酒屋の番頭に掛けあって、灘の生一本を三升借りこんで、これを花の下に担ぎ込み、コップ一杯十銭で売ろうという名案を考え出した。客が二十銭銀貨を出したときにツリがないというのも気がきかないから、十銭玉一枚だけは用意して行こうと、周到ぶりもよろしく、樽を担いでいた熊さん、匂いばかりを嗅がされて、とうとう我慢ができなくなり、「おい辰、商売だから、ただ飲みはわるかろうが、銭を出したら、おれが飲んでも構うまい」「構わねえとも、だれに売ったっておんなじだ」というわけで、一杯おれに売ってくんねえ、ホラ、十銭だよと、たしかに支払

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場：埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480-34-1716 FAX 0480-34-1360

って、熊は一杯ぐっと飲み干す。売って十銭を手にした辰も、これを見て辛抱しかねて、「兄貴、おれにも一杯売ってくんねえか」「いいとも、買いねえよ」「じゃ十銭、払うよ」二人はみちみちこれをつづけ、やがて向島に来たころは、もうベロベロで、客がついたときは酒はとっくに売切れ。じゃ一つ売上げを勘定しようじゃないかと、熊が財布をさかさにしたら、ジャラジャラとは出てこないで、十銭玉一つがころげ出た。・・・これは随筆風に書かれた経済評論です。歴史は誰でも語れると思いますが笠氏のようにその後の不況を言い当てている先見を語るのはなかなか難しいと思います。皆様はどのようにお感じになりましたでしょうか？！

幹事報告

田中幹事

- ① 杉戸町国際交流協会よりクリスマスパーティーのご案内がきております。
日時 平成 19 年 12 月 9 日 (日) 14 時～
場所 西公民館・研修室 参加費 500 円
- ② 2009～2010 年度派遣ロータリー財団国際親善奨学生の募集についてがきております。
- ③ 韓国 3750 地区との友好 20 周年記念行事案内がきております。
日時 2008 年 5 月 22 日 (木) ～24 日(土)
場所 韓国 済州島

委員会報告

親睦担当

本多会員



先日渡辺委員長と一緒に浅草のビューホテルに行ってクリスマス会の詳しいことを決めてきました。皆さんに案内の書類が配ってあると思いますが出来るだけ大勢の方の参加をお願いします。

日時 平成 19 年 12 月 18 日 (火) 18 : 00～
場所 浅草ビューホテル
会費 会員 5,000 円 奥様 3,000 円

奉仕プロジェクト

仁部委員長



当クラブの 40 周年記念事業として町内各中学校に各校 100 万相当の本を「ロータリー文庫」

として寄贈するという話を進めてきました。このことについて今月 30 日の午前 9 時 30 分に野口町長宛てに目録を贈ると言うことで、会長、幹事、渡辺会員と私で行ってきますので報告を致します。

卓話

下 和雄様



《ロータリー財団について》

R 財団は財団の父、6 代目 RI 会長のアーチ C・クランプが 1917 年の国際大会で「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善・教育・その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案したことで始まった非営利財団法人で、世界平和・国際間の理解と友好を増進するうえで、欠かす事の出来ないものです。

① 07 規定審議会におきまして、財団の使命が訂正されました。

旧「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」

→新「国際ロータリーの財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、

親善、平和を達成できるようにすることである」

標語：世界でよいことをしよう

この RI の財団テーマに則り今年度の地区テーマを鈴木子之吉部門委員長は次のように決めました。「世界と地域でよいことをしよう。そして目指そう増進100%」です・

② R財団の寄付の内容ゆくえについて

寄付の種類には「年次寄付」「恒久基金」「使途指定寄付」があります。

年次寄付（毎年の意味）は、使途指定のないものです。

財団プログラム（国際親善奨学金・世界平和フェローシップ・GSE 研究グループ交換や地区補助金支給・マッチンググラント等）を継続させる為の燃料の役割を果たすもので、3年後に50%が地区財団活動資金（DDF）として地区に戻ります。当2770地区は日本34地区中第1位です。昨年度は83クラブ中11クラブが100%未達成。＊今年度は3年前の北ガバナー年度の年次寄付と恒久基金の運用益が49,000ドル戻ってきます。（飯野年度は田村年度の44,413ドルが戻ってきました。）

＊財団プログラム

1. 教育的プログラム①国際親善奨学金②世界平和フェローシップ③財団学友④研究グループ交換（GSE）⑤大学教員のための補助金⑥ロータリー平和及び紛争解決研究
2. 人道プログラム①保健、飢餓追求及び人間性尊重（3-H）②地区補助金③ボランティア奉仕活動補助金④マッチング・グラント
3. ポリオ・プラス①ポリオ・プラス・パートナー

地区財団活動資金（DDF）の使われ方

- ① 国際親善奨学生派遣及び受け入れ奨学生への奨学金（2007～2008年度派遣国際親善奨学生は11名・2008～2009年度派遣国際親善奨学生は8名で、受入れ奨学生はベトナムからのレティ シュン ジュウさんのお一

人です。（支給額は07～08年度26,000ドル08～09年度23,000ドル）

＊国際親善奨学金の目的は「男女を他国の教育機関で勉学させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与する事」

② 地区補助金（DDFの20%を上限に支給）

③ ポリオプラスパートナーに使用

残りの50%は国際財団活動資金WF（ワールドファンド）としてプール→GSE・マッチンググラントに使用

恒久基金（ベネファクター）とは、使途指定のないもので、投資されて収益のみがDDFとWFに分けられDDFは地区に還元されます。1000ドルでベネファクターとして認証されます。

恒久基金は現在[2006/9/30]5億530万ドル（116円で換算して約586億円）プール
2025年目標 10億ドル

＊年次寄付と恒久基金の違いは「年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします」言い換えると「年次寄付は、毎日庭に水を撒き、花々に水分を供給するようなもので、恒久基金はいつでも水が撒けるよう、充分な水を用意している貯水池のようなものです。」（財団ハンドブック）

地区よりのお願い

年次寄付目標……RI100ドル/一人目標（Every Rotarian, Every year）毎年あなたも100ドルをが2004年の規定審議会で決議されています。
→地区200ドル/一人+ポリオ10ドル

計 210ドル

恒久基金目標……「1クラブ当たり

ベネファクター一名」[1,000ドルの寄付]

{50名以上のクラブ ベネファクター2名}

使途指定寄付とは使途を指定して寄付するもので、ポリオ・プラス、ポリオ・プラス・パートナー、津波、地震、冠名国際親善奨学金（15万ドル以上……収益が1学年の費用26000ドル

に達したら1人) マッチング・グラント等他に冠名基金(当初、奨学金のみを対象としていたが、25000ドル以上で奨学金に限定しないものが設けられました。)世界平和フェローシップ冠名基金(25万ドル以上・・・収益6万ドル1人)

現在、八潮RCの田中作治様がRIのロータリー財団管理委員である事は皆さんご承知と思いますが、本年2007年度浦和東RCの北清治パストがRRFというR財団地域コーディネーターに任命されました。このRRFというのは、Regional Rotary Foundation Coordinatorの略で、ロータリー財団管理委員長が原則としてゾーンごとに任命し、財団情報の提供、寄付増進その他さまざまな活動を担う人。地区の活動を援助し、日本では第1ゾーン(黒田正宏・・・八戸南RC)第2ゾーン[北清治・・・浦和東RC]第3、4ゾーン(小島哲・・・泉大津RC)の3名が任命されました。任期は3年です。

最後に「ガバナー月信11月号」に掲載したものが、紹介いたします。

ロータリーは奉仕と親睦の中で感動を共有できる素晴らしい世界的組織です。

そして、奉仕を行う為の燃料・エネルギー(財団プログラムを推進する為の資金)(車のガソリン)(田植えに必要な水)を補ってくれるのが、ロータリアンによる財団の寄付です。

今年度のカナダのRI会長のウィルフリッド・Jウィルキンソン氏は「ROTARY SHARES」「ロータリーは分かち合いの心」を掲げておられます。時間・才能・専門知識・資金・思いやり・熱意を分かちあうことによって、恵まれない人々を助け、より良い社会を築き上げようということです。世界だけでなく自分達の為の財団でもあります。

私の好きな言葉に「俺が俺がのがを捨てて、お陰お陰のげで生きよ」という言葉がありますが、人生への感謝と感動のロータリーライフを皆さんと一緒に歩みたいと思います。人生への感謝のしるしとして(体・心・お金の奉仕)是非財

団に寄付をお一人お一人の積み重ねで広く薄くお願いします。「感謝して 奉仕するのが 何悪かろう」であります。

出席報告

渡辺良一会員



出席免除 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
11/27	25	14	11	6	80%

スマイル報告

下様→関口パストのお声がけでお邪魔させて頂きました。宜しくお願ひ致します。

下津谷会長→下地区委員長、本日は卓話ありがとうございます。

関口会員→下ロータリー財団増進委員長、お忙しいところ卓話ありがとうございます。

以下同文→本多会員、大作会員、新井会員、庄司会員、田中幹事、黒岩会員、仁部会員、舟越会員、細井会員、篠原会員、渡辺孝会員、渡辺良一会員

本日投入額	21,000円
累計	408,500円